

立石1~8・東立石4丁目 差別落書き14カ所 発生 悪質な部落差別落書きを絶対に許さない！ 人権を守る地域づくりを進めよう！

*5月15日、葛飾区職員から立石1丁目奥戸街道沿いの交通標識に「部落」と差別落書きがあると区役所に連絡があり、葛飾区人権推進課と部落解放同盟葛飾支部で現場を確認しました。近辺に同様の落書きがないか見回ったところ、奥戸街道沿いの電信柱や電話ボックス、交通標識、駐車場入口柱、アーケード入口の柱などにも差別落書きがあるのを発見しました。さらに、本奥戸橋から東立石緑地公園を通過して平和橋に続く歩道の中川右岸フェンスなどにも「阜岐県 カッペ 部落!」「野田市 キチガイ 部落!」「アブラック部落!」などと書かれた差別落書きが見つかりました。続けざまに5月末には中川の奥戸側のフェンスにも「阜岐県 カッペ クソバカ 部落!」、東立石緑地公園傍の中川河岸のコンクリートに「アブラック部落」という差別落書きが見つかりました。奥戸街道の立石1丁目から8丁目にかけての歩道、東立石4丁目、本奥戸橋から東立石緑地公園を通り平和橋までの中川右岸、対岸の中川左岸の奥戸1丁目付近に渡り、芸能人を誹謗したり企業を罵倒する内容の落書きも含めて計32カ所発見され、その内14件が被差別部落に対して侮辱の意志が込められた差別落書きでありました。部落差別に苦しむ人々の心を踏みつぶす絶対に許すことのできない差別落書きです。

*連続して発生する差別落書きへの怒りと憤りは抑えられない状態にあります。しかし今回の立石・東立石地域での連続大量の差別落書き事件に対して、私たちの部落差別撤廃への切なる思いと地域で人間の尊厳＝人権を守って行くことの大切さを訴えていくために、人権啓発ビラの戸別配布を行なうことで、一人でも多くの区民のみなさんに身近で起こっている差別事象から具体的な人権を見つめ考え学んでいただき、地域から人権意識の高揚を図っていく契機として頂きたいという思いで取り組んでいます。



*一人でも多くの区民に私たちの思いを理解して頂き、悪質な部落差別落書きを絶対に許さないという声を地域で広げていくことこそが、挑戦的に差別落書きをくり返す犯人の差別行為を封じ込めていくことにも繋がると考えています。

部落解放同盟東京都連合会葛飾支部

立石・東立石地域から差別や人権侵害をなくし、子どもからお年寄りまで、女性も男性も、どこ生まれであろうと、どんな仕事をしていようと、どんな病を抱えていようとも、誰もが互いの人権を尊重し、自分たちの誇りと尊厳を守っていける地域にしていきたいと思います。

葛飾区においては2001年12月より、同一犯による差別落書きが今回を含め21件(50ヵ所)発生しています。自動販売機や電信柱、公園や町会の掲示板、トイレやゴミ集積所、公共施設案内板等々、大胆な差別落書き行為が繰り返されています。今回も落書きの文字や形態から同一犯と推測できます。

一連の差別落書き行為に対して、部落差別の解消、人権行政の推進、人権のまちづくりに真剣に取り組んでいる私たち部落解放同盟葛飾支部、働く人たちの人権が保障された職場作り、職業差別解消のために懸命に取り組みを進めている各種の労働組合をはじめ、差別解消に努力を積み重ねている行政・各種団体や地域の仲間たちは憤りを隠せません。

区内に散在し、自らの出身を隠しながら結婚差別や就職差別など、今なお根強く存在している部落差別の現実に関心と不安と恐怖を感じながら生活している被差別部落出身者がこの差別落書きを目の当たりにしたら、言い尽くせぬ恐怖感に襲われ、生きた心地などしないであろうことは簡単に想像できます。

2008年11月には葛飾清掃工場のトイレで「葛飾のゴミ屋共は全員“えた非人以下のムシケラ。”『クズがゴミ取ってどーする？ボケェ』(笑)という悪質な差別落書きが発生し、行政や労働組合、学校の先生方、地域住民が様々な取り組みを積み重ねてきました。しかし、去る2月10日と15日には、奥戸7丁目の葛飾区総合スポーツセンター内および周辺の案内板や掲示板、ジョギングコースの中川沿いフェンスに設置されている建設事務所の警告板など、計9ヵ所に「○○○○○(テレビ番組有名司会者の名前)エッタ!」「ゴミ屋 非人」「ゴミ屋 エッタ!」「部落!」などと書かれた差別落書きが発生しました。そしてまたしても同一犯と思われる今回の立石・東立石での14ヵ所・広域に渡って行われた悪質な大量差別落書きです。

地域の看板やフェンスに書かれた「些細な」と思われてしまう落書きでも、その内容や落書きに込められた意志は部落に対する侮辱や蔑視であり、部落差別であります。犯人は自分が気にいらぬ人々や企業・団体などを批判するにあたり、最悪なもの例えとして、また、誹謗・中傷の「最良の」表現として「部落」「エッタ」「非人」を使い罵倒しています。これらの差別落書き行為は、悪意に満ちており絶対に許すことはできません。

部落差別をはじめ一切の差別は、差別を受けた当事者だけの問題ではありません。日常生活の中で起こる差別や人権侵害を見て見ぬふりをしたり許してしまうということは、自分自身の人権も守られていないということです。

葛飾区で、立石・東立石地域で安心して心豊かに生活していきたいという思いを実現するためには、人権を尊重した差別や人権侵害を許さない地域ぐるみの取り組みが重要です。

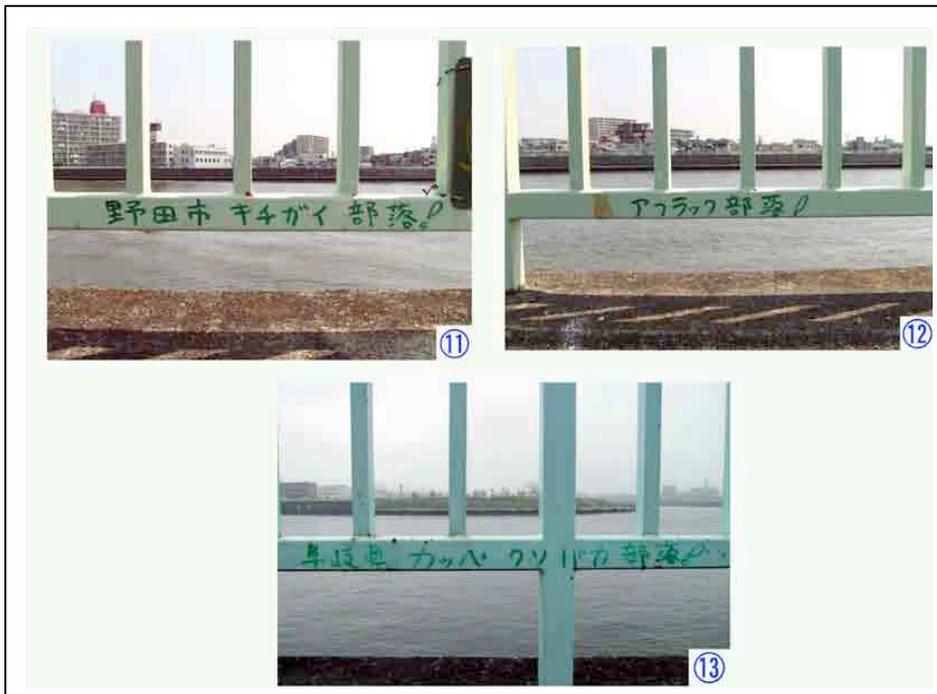
★葛飾区および東京都第五建設事務所、NTT 東日本東京は、葛飾警察署に被害届を出しております。

★地域の建物やフェンス、シャッター、看板や掲示物、電信柱やガードレール、自動販売機などに部落差別の落書きがありましたら、また、落書きをしている者がいましたら、下記までご連絡下さい。地域の皆様のご協力をお願い致します。

◎葛飾区 ☎ 3695-1111 (代表) 人権推進課へご連絡願います。

◎部落解放同盟葛飾支部 ☎ 3696-7050 葛飾区同和对策仮奥戸集会所 ☎ 3696-6374

葛飾区 立石・東立石地域連続差別落書き(2010年5月)



葛飾区の人権行政を推進し、一切の差別解消に向けてご尽力されている葛飾区議会議員、東京都議会議員、各種団体の方々からもご協力を頂いております。

私たちは、すべての葛飾区民の人権が尊重され、安心して健やかな生活を営んでいくことができる葛飾区を創っていくために、一切の人権侵害・差別解消に向けた取り組みを推進しています。

私たちは、区内で相次ぎ発生している部落差別に関わる差別落書きを許しません。

いまだ根強く厳存する部落差別・同和問題解決に向けた区民の皆様のご支援とご協力を切にお願い致します。

- ◎ 葛飾区議会議員 舟坂 ちかお
- ◎ 葛飾区議会議員 丸山 銀一
- ◎ 葛飾区議会議員 米山 真吾
- ◎ 葛飾区議会議員 中村 けいこ
- ◎ 葛飾区議会議員 うてな 英明
- ◎ 葛飾区議会議員 佐藤 ゆうだい
- ◎ 葛飾区議会議員 くげ しげる
- ◎ 東京都議会議員 伊藤 まさき
- ◎ 葛飾区職員労働組合委員長 牧野 梅三郎
- ◎ 葛飾区教職員組合
- ◎ 葛飾区同和教育促進協議会
- ◎ 葛飾区総合スポーツセンター 葛飾区体育施設指定管理者
住友不動産エスフォルタ・東洋管財共同事業体